

当院を受診している患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	転移性肝腫瘍早期検出のための人工知能を活用した新規画像バイオマーカーの探索
研究機関の長(試料・情報の管理責任者)	愛知医科大学病院 病院長 道勇学
研究責任者	(所属)放射線医学講座 (職名)助教 (氏名)成田晶子
研究の対象となる方	腹部消化器悪性腫瘍の治療を行っている方で 2017 年 4 月～2022 年 12 月に当院で腹部造影CTと腹部造影MRIの両方を受けられた方
研究期間	研究実施承認日 ～ 2026 年 3 月 31 日
研究目的及び利用方法	<p>[研究目的]</p> <p>胃がんや大腸がん、膵臓がんなどの腹部消化器悪性腫瘍は進行すると他の臓器に転移することがあります。肝臓は主な転移先臓器の 1 つで、肝転移を探するためには造影CTや造影MRIといった画像検査が行われています。造影CT検査は広い範囲を一度に検査できるメリットがありますが、肝転移を見つける能力は必ずしも高くないデメリットもあります。</p> <p>この研究では、人工知能技術を活用することで、腹部造影CT検査で肝転移を見つける能力が向上するかどうかを明らかにすることを目的としています。</p> <p>[利用方法]</p> <p>提供いただいたデータを元に人工知能を開発し、診断能を評価します。</p> <p>[外部への試料・情報の提供]</p> <p>試料・情報は個人が特定できないようにし、記憶媒体(DVD)に保存し、郵送により共同研究機関へ提供します。</p> <p>[外部への提供開始日]</p> <p>研究実施承認後</p>
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	<p>情報：研究に使用する試料・情報</p> <p>情報：年齢、性別、病歴、体重、CT 画像、MRI 画像 等</p>
提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	浜松医科大学放射線診断学講座 五島聡

試料・情報を利用する学外の者	浜松医科大学 放射線診断学講座 五島聡 金沢大学附属病院 放射線科 小坂一斗 岐阜大学 放射線科 野田佳史 GE ヘルスケア・ジャパン 佐々木公祐
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2026年2月28日までに下記問い合わせ先まで申し出てください。
外国への試料・情報の提供	非該当
問い合わせ先	愛知医科大学医学部 放射線医学講座 担当者：(職名) 助教 (氏名) 成田晶子 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 22833)